



アルジェリア地震 救援 NEWS

〈 第 2 報 〉

CODE(海外災害援助市民センター)
〒652-0801 神戸市兵庫区中道通 2-1-10
Tel: 078-578-7744 Fax: 078-576-3693
e-mail: info@code-jp.org
URL: http://www.code-jp.org/



倒壊した集合住宅 (ロイター)

■海外研究員(メキシコ)の現地派遣決定

5月21日に発生したアルジェリア地震ですが、6月1日までのアルジェリア政府からの発表では、死者2,268人、負傷者1万147人、家を失った人、約20万人にのぼっています。最も被害の激しかった地域では保健サービス、水の供給、電気、通信システム等のライフラインが未だに回復していないということです。

CODEは情報収集と共に現地派遣を検討してきましたが、この度CODE海外研究員であるメキシコのクワテモックさんを派遣することに決定しました。クワテモックさんは、1985年のメキシコ地震以来、被災地の再建活動に取り組んできたNGOの第一人者で、これまでもNGOsKOBETとの連携でトルコ地震災害、ベネズエラ水害、エルサルバドル地震災害、メキシコユカタン半島ハリケーンなどでも活動をしてきた方です。また、トルコ地震の時にも私たちNGOと一緒に現地入りし、トルコの被災者を励ましてくれました。

今回のアルジェリアはフランス語圏ということもあり、フランス語の得意なクワテモックさんに依頼しました。6月中旬には現地入りし、今後の救援プロジェクトの可能性を探ると共に、KOBETからの「お返しテント」を寄贈していただく予定です。

* 「お返しテント」

阪神・淡路大震災直後、アルジェリア政府から90張りのテントが贈られました。このテントは仮設住宅の集会所やイベントなど、住民ふれあいの「場」として使われました。当時、この「アルジェリアテント」で、お世話になったお返しとして、アルジェリアにテントを贈るための募金活動です。

■「お返しテント」募金に協力の輪が広がる

・コープこうべでは「コープこうべ 災害緊急支援基金」からの拠出を決定し、6月5日に贈呈式を行いました。(写真)



・兵庫県立舞子高校の文化祭（6月13,14日）で、生徒会が中心になって地震救援のパネル展示と募金活動を行います。CODEは国際協力事業団（JICA）兵庫国際センターより、緊急救援隊が現地で活動された写真提供の協力を得て、生徒たちの活動をサポートします。

・兵庫県では、独自の見舞金の他にCODEの「お返しテント」募金に協力し、県庁舎内に募金箱を設置する事になりました。

設置場所は本庁舎1号館・2号館ロビーと各県民局10カ所で1ヶ月間、募金活動が行われます。

・神戸市、(財)神戸国際協力交流センター及び神戸地下街(株)の協力を得て、JICAとCODEは緊急写真パネル展ならびに街頭募金を行います。日時・場所は次の通りです。

6月12日（木）10:00～17:00 市営地下鉄三宮駅構内
6月13日（金）10:00～18:00 デュオこうべ（神戸駅地下街）
6月14日（土）10:00～17:00 三宮交通センター1階（さんちか入口）

【郵便振替口座】
口座番号：00930-0-330579
加入者名：CODE
*通信欄に「アルジェリア地震」または「お返しテント」と明記してください。

■募金に
募金に協

ついて

は、下記郵便振替にて通信欄に「アルジェリア地震」または「お返しテント」と明記して下さい。「アルジェリア地震」への募金の15%を上限として事務局運営・管理費に充てさせていただきます。

<アルジェリア支援者～5/27まで 敬称略・順不同>

三島（東京都）・河野（奈良県）・中村（神奈川県）・桜屋、畑中、押川（以上京都府）・押谷、横田、浦崎（以上大阪府）・倉賀野、杉本、津田（以上兵庫県）

柳瀬 支援基金委員長(右)より
CODEへ目録の贈呈